

<研究名称>

「難治性副腎疾患の診療に直結するエビデンス創出」

“Japan Rare/Intractable Adrenal Diseases Study (JRAS)”

(平成 30 年度日本医療研究開発機構研究費 (難治性疾患実用化研究事業))

<実施責任者>

小児科 向井 徳男

<研究期間>

2018 年 4 月～2021 年 3 月

<研究の目的・意義>

難治性副腎疾患は原因不明で特異的治療法が未確立な疾患群である。特に副腎腫瘍は腫瘍性病変としての病態に加えて、過剰に産生されるホルモンによる全身的な影響のため診療に難渋することが多い。その希少性ゆえに、診療の質向上に必要なエビデンスの構築と病院・病態の解明には、多施設共同研究体制と継続性のある疾患レジストリの構築、さらにそれとリンクしたバイオレポジトリの確立が必須である。また、疾患レジストリ構築を通じて診療実態を明らかにするとともに診療情報の共有による臨床研究により、実態に即したエビデンスの創出が可能と考えられる。

本研究班の研究代表者らがこれまで構築してきた 6 疾患 (原発性アルドステロン症、褐色細胞腫・パラガングリオーマ、クッシング症候群、サブクリニカルクッシング症候群、ACTH 非依存性大結節性副腎過形成、副腎がん) の疾患レジストリを活用し、疾患毎に診療に直結するエビデンスを創出、診療ガイドラインの質向上に資することを目的とする。

<実施内容 (方法)・危険性 (副作用) 等>

観察研究の適格性を満たす患者を登録する。各疾患の診断は、各国が定める学会に準拠する。

<倫理上問題になると考えられる事項、及びその他特記すべき事項>

なし。

<実施の責任者及び実施にかかわる者の氏名、役職、職名>

実施責任者 小児科 向井 徳男

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 小児科 向井 徳男

TEL 0166-22-8111 FAX 0166-24-4648